



何のために 誰のために

校長 浅見 正 史

今、生徒たちは、新たな学年の生活にも慣れ、学習や部活動等に向け、一生懸命頑張っています。特に、1年生の1学期は学習量も増え、学習内容も難しくなります。また、部活動も始まり「学習と部活動の両立」が課題となります。辛いこと、苦しいことにもめげず、頑張っていきましょう。

生徒の皆さんにとっては、生活している中で面倒だなと思うことはたくさんあると思います。2、3年生には、始業式で「面倒くさい!と言わない。」と話をしたのを覚えていますか。そこで、ゴミが落ちていたら、皆さんはどちら行動をとりますか。

A：気付いたら、その時すぐに、自分が率先して拾う。

B：気付いても、そのうち、誰かがやりだろうとスルーする。

特に、自分に関係がないと『B』のようにスルーする人が多いのではないのでしょうか。ゴミが落ちていても、誰かが拾って捨ててくれるだろうと思う人や、ゴミがたまっている何も思わない人もいて、ゴミが気にならないのでしょうか。問題はゴミに気付き、その後どうするのか。問題や課題に気付けば、次の行動に移せるはずです。

余談ですが、『ゴミを拾うことは運を拾うことだ』と言った人もいます。このような「気付き」は様々な体験から少しずつ身に付くことだと思います。勉強では解答は一つではないという気付きや、より良い生活をするための気付きなど、どれも今の皆さんには大切なキーワードとなります。

また、これからの社会では、主体性、社会性、創造性、先駆性など、たくさんの特性が求められます。それらの特性を身に付けられるのがボランティア活動です。現2年生から、埼玉県公立高等学校入学者選抜の受検スタイルが変更されます。中学校3年間の自分の活動した足跡が評価の一つにもなります。ぜひ、「気付き」は何のために、誰のためになるのかを考え、ボランティア活動に参加してください。

保護者の皆様及び地域の皆様、新たな年度を迎え、生徒たちが目標をもち、輝く学校生活が送れるよう、教職員一同、心と力を合わせて取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



昇降口廊下
ボランティア掲示板
是非見てください!